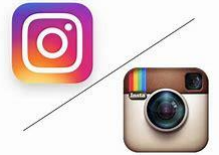


「結果よりも過程が大事」と考える人は・・・

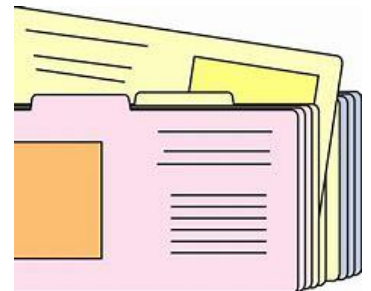
“たいした結果を残せなかった人が言い訳につかう論理だ”という厳しい意見もあるところですが、そう言われないうちにも「**努力の過程**」を**克明に記録**してください。いつ・どこで・何を、どのように取り組んだのか、そしてどうなったのかを具体的に記録してください。画像や「証拠の品」、証明があると良いですね。ブログやインスタグラムをアップしましょうとはいいいませんが、同じようなモノを残しておきましょう。



(ブログやインスタ、YouTube、ツイッターやフェイスブックの影響で就職や進学がダメになったという事例があります。個人情報の公開は慎重に)。

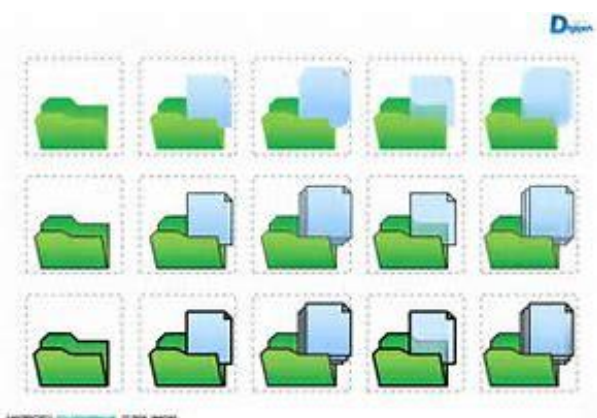
最近の教育業界で話題になっている言葉に『**ポートフォリオ**』というものがあります。ポートフォリオ (portfolio) とは“書類を運ぶためのケース”という意味で、写真家やデザイナーが自分の作品を持ち歩く場合や、金融業界では金融商品の説明のための資料を整理することに使われていました。

そのポートフォリオが教育業界では、“**教育における個人評価ツール (パーソナルポートフォリオ)**”として使われはじめています。これは、生徒が自らの学習過程で残したレポートや試験用紙、活動の様子を残した動画や写真などを、ファイルに入れて保存しておいて総合的に評価するという方法です。



つまり、みんながこれまでに取り組んできた、**学習・検定・部活動・学校行事・ボランティア活動や、その時々**に書いた**作文や感想文をデータとして一カ所に記録保存し、それを公表することで評価をしてもらうこと**になります。

近年、大学生の就職活動の一つに、意中の企業にエントリーして選考されるのを待つのではなく、「自分はこういう人間です。こういう経験・体験をし、このような実績を残してきました。」というような自己PRを登録サイト上に公開して、企業側からの「ぜひあなたを採用したい!」というオファーを待つという方式があるそうです。



この就活方式の場合、自分をPRする際に必要なのが、**「ポートフォリオ」**です。高校生の就職活動ではこのようなやり方は採用されないとは思いますが、担任の先生や、進路の先生が企業の方と接触する際に、このような「確かな証拠」つきの資料があると良いですね。大学進学後の就職活動の際に、「高校生の時から・・・」「高校生の時には・・・」と高校時代の実績を語るときにも使えますね。(大学時代の実績だけで、勝負しなければならないことではないですよ)

「結果は過程を反映する」と考える人は・・・

“成果至上主義や、結果が全て”という人が使う論理です。結果にこだわると、人間としてのモラルや“心のゆとり”を失いそうな考えでもあります。

しかし、『継続は力なり』『努力は嘘をつかない』という言葉もあります。過程がしっかりとしていれば、堅実な取り組みをしていれば、自ずと結果はついてくると思うのですが・・・。



「結果は過程を反映する」と考える人は、**結果に対しての評価と、結果を踏まえての次の目標設定とその実現のための具体的な計画**を立てましょう。最近『P D C Aサイクル』という言葉がはやっています。**物事に対する「計画・実行・評価（振り返り）・改善（工夫）」**のことをP (Plan) D (Do) C (Check) A (Act、Action) といいます。日常の学習はもちろん、部活動や検定取得にも取り入れてください。

“努力はしている（つもり）”が、いっこうに成果が出ていない人には、ぜひ取り入れてもらいたい考えですね。特に、努力の方法が間違っていないかを検証（振り返る）ことは重要です。間違った努力は、無駄な時間を費やすことになります。

P D C Aサイクルが上手く機能しないと、高望みをして挫折をしたり、目標が低すぎてモチベーションが下がったりしてしまいます。これでは成長しませんし、「結果が全てと言う割には、たいした結果じゃないね」と言われてしまいます。

このP D C Aサイクルもポートフォリオと同様に記録することが重要です。目標の設定、目標実現のための具体的かつ詳細な計画、上手くいった点・いかなかった点のチェック、そして結果・・・。



特に難しいことをする必要はありません。いまみんなが使っている**スコラ手帳をフル活用**すれば良いんです。

連絡事項の記録やスケジュールなどのメモ帳として使うだけではもったいないです。**様々なプランやその振り返り、気づき、創意工夫を記録してください。**学習活動にも利用してください。みんなが使っている手帳はP D C Aをしやすい様式になっているはずですよ。

人間は忘れる動物である・・・

人間は忘れる動物ですから、文明の利器を大いに活用して克明な記録を残してください。

みんなは、親や先生世代よりも、もっと気軽に、容易く文明の利器を使いこなせるはずですが。他の人がつくった動画やブログやインスタを、ただボーっと眺めているのではなく、自分にとってより良いものを作ってください。

そして、それを自分の実績をP Rすることに活用してください。曖昧な記憶をもとにP Rするよりも説得力がありますよ（間違っても誹謗・中傷や個人情報の拡散はしないように）。

